

## 南河原スリッパができるまで

### ①裁断

スリッパの金型を使って生地をプレスします。



### ②縫製

甲材の表と裏を縫い合わせ、糊付けした後に裏返し、貼り合わせます。



### ③吊り込み

縫製した甲材を吊込機で熱成形します。



### ④八方ミシン

底材と吊り込んだ甲部を八方ミシンで縫い合わせます。



### ⑤仕上げ

出来た甲部と中敷に糊をつけ、高圧力でプレスします。



### ⑥検針・完成

折れた針などの混入がないか検針機に通し、一足ずつ仕上げの状態を最終確認し完成。



## 守り続ける伝統技術

南河原スリッパは農閑期をより良く活用しよう、戦前国税局に勤めていた故・和泉磯義さんが東京から製造方法を持ち帰り製造を始めたことがきっかけとなりました。その後、比較的少ない資本で始められ、季節を問わず安定的に販売できることから、南河原村全体に広がっていきましました。

### 南河原スリッパの父

スリッパが日本で初めて作られたのは明治時代初期ごろと伝わっています。開国により西洋人が日本を訪れるようになり、室内で靴を脱ぐ習慣のない西洋人とトラブルになることがありました。そこで、靴の上から履くために作られたものがスリッパの始まりといわれています。

### スリッパの始まり

## 日々技術を磨き、大切にされるものづくりを

スリッパ作りでは、履いて満足してもらえるよう「お客様の視点」を大切にしています。たかがスリッパ、でも奥が深い。たとえ材料が同じでも縫い方、仕上げ方で履き心地も、もちの良さも驚くほど変わります。これが大量生産する機械と手作りする職人の違いです。



スリッパ製造業 和泉文夫さん(74歳)  
昭和37年からスリッパ製造を行う製造工場を営む(2代目)。従業員は和泉さんを含め8人。この工場では吊り込み以降の工程を行っており、1日約1,000足を手作業で仕上げている。

南河原スリッパの強みは長年磨き上げられた「技術力」と時代に柔軟に対応する「トレンド力」、そして「納期の短さ」です。生地加工を市内業者が請け負うことで競合社の約半分の期間で納品を可能にしています。

伝統産業だからと型にはまらず、新しい考えを取り入れていくことで、より多くの人にスリッパの魅力を伝えたい。長く大切に使用してもらえるお気に入りの手にしてもらいたいですね。

## 挑み続ける伝統産業

# 南河原スリッパ

南河原地区の「スリッパ」は行田市が誇る伝統産業の一つです。戦後の旧南河原村で農閑期に始まり、昭和55年(1980)には生産量日本一のスリッパ産地となりました。

現在も職人によって、一つ一つ丁寧に作り上げられた南河原スリッパは、型崩れしにくく足によくなじみます。近年ではこの洗練された職人の技に、斬新なアイデアを掛け合わせることで、さらなる魅力を引き出す取り組みが進められています。

今回は、履きやすさと美しさを兼ね備えた南河原スリッパを紹介します。



## 昭和から平成、そして令和の時代へ

### 受け継がれてきた伝統産業

旧南河原村では、農業の傍らでできる産業を模索し、昭和29年(1954)ごろからスリッパ製造が始まりました。最初は製造方法に試行錯誤しながらも戦前から草履の生産を行っていた業者も加わり、昭和36年(1961)には埼玉スリッパ商工業協同組合が設立され、本格的な製造が始まりました。主婦たちも農閑期の副業として支え、村の全世帯のおよそ9割が何らかの形で関わり、村を上げての産業へと成長しました。当時は、大量消費の需要に因應る形で、ビニールやスポンジを素材とした安価なスリッパが大量生産

されていきました。しかし、海外製のより安価なスリッパが国内市場に入ってくると、方針の転換を迫られます。そこで、昭和45年(1970)ごろから、それまでの大量生産方式をやめ、品質を重視した製品作りへと方針転換されていきました。そして、最盛期の昭和55年には年間約3千153万足を製造し、日本一の生産量を誇りました。

ピーク時には約40軒あった製造業者は現在数軒になりましたが、良質なもののづくりにこだわりの南河原スリッパの品質とデザイン力は力強く息づいています。

### 旧南河原村データ

面積…5.82平方キロメートル  
人口…4,222人(H18.1.1 合併時点)  
郷土芸能…ささら、武蔵あばれ太鼓

### 歴史

明治22年 南河原、中江袋、馬見塚、犬塚の4村が合併し南河原村へ  
昭和51年 村章制定  
昭和59年 総合庁舎(現在の南河原支所)完成  
平成元年 村制施行100周年  
平成11年 全国初の汚泥再生施設「妻沼南河原環境浄化センター」完成  
平成16年 埼玉県内最高記録 交通事故事故ゼロ 7,000日達成  
平成18年 行田市に編入

